



「DO YOU KYOTO?」ロゴマーク

月刊

あじえんだ 9 月

2009年



京のアジェンダ21フォーラム事務所
〒612-0031
京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター2F 活動支援室内
TEL: 075-647-3535
FAX: 075-647-3536
E-mail: ma21f@inbox.kyoto-inet.or.jp
開室時間: 8時45分～17時30分(木・日休室)
アクセス: 京阪電車「藤森」西へ徒歩5分
地下鉄・近鉄「竹田」東へ徒歩13分
市バス・京阪バス「青少年科学センター前」南へすぐ

みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信
月刊あじえんだは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です



2009 (平成 21) 年度第 2 回幹事会報告

7月31日(金)に2009年度第2回幹事会を開催しました。6月5日(金)に開催した総会において、2009年度・2010年度の幹事及び監事が選任されたことに伴う役員選任と、京都における自然エネルギーの普及を目指すグリーン電力制度に関する2つの事業が承認されました。特に、環境省委託事業である「地域におけるグリーン電力証書の需要創出モデル事業」については、これまでの京グリーン電力制度との違いなどに関する質疑が行われました。また、フォーラムの今後の方向性やビジョンについての意見交換が行われ、今が「フォーラムが目指すべきものを再度認識し示すべき」時期だということを確認しました。

これからも会員の皆さまにはフォーラムの活動にご協力くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

○ 2009 年度第 2 回幹事会議題 ○

- 第1号議案 役員の選任について
- 第2号議案 京グリーン電力制度の運用について
- 第3号議案 「地域におけるグリーン電力証書の需要創出モデル事業」(環境省委託事業) 実施プロジェクトチームの設置について

○ 役員 ○

代 表 内藤 正明
幹 事 長 小幡 範雄
副幹事長 大島 仁 杵本 育生

■ 2009 年度の主な事業について報告

「中長期展望の策定や、そのための具体的な方策の検討プロジェクト」について

京都市へ提言する項目の整理を行っており、社会・価値観・くらし・都市構造・交通・観光・エネルギー・経済・産業などの部門に分けて、京都市の2030年における社会経済像について議論を行っています。今後のフォーラムの活動の指針ともなることから、年内を目処に提言をまとめ、提出する予定でプロジェクトチームで協議していることを報告しました。

「バスと電車で eco グルメ!」について

これまで2月の京都議定書発効記念月間を中心として実施してきましたが、今年度は8月より年間2回の重点期間を設けて実施予定をしています。6月22日にプロジェクトチーム会議を開催し、京都市交通局・産業観光局・飲食店などからご意見をいただき、事業内容を検討しました。昨年度との違いは、対象となる乗車券カードを拡大(ICカード、京都修学旅行1dayチケット以外)し、更にこの制度を利用し易くしました。また、パンフレットでは、なるべく環境に配慮した飲食店を掲載することにより、飲食店の環境配慮型への転換を促していくことも視野にいらしています。パンフレット配布にご協力いただけます場合は必要部数をお送りいたしますので、フォーラム事務局までご連絡ください。

「交通」と「エコツーリズム」ワーキンググループ(WG)について

8月21日(金)に2009年度第1回交通・エコツーリズムWG合同会議を開催しました。交通WGでは、「まちなかを歩く日」が開催される11月に、これまでのフォーラムの成果を発表し、活動への新たな参加者を募ることを期待して、シンポジウム(交通・観光合わせて)を開催することを検討しています。

交通・エコツーリズムワーキンググループ（WG）の近況報告

これまで交通 WG では、環境負荷の少ない交通体系の創出を目的とし、歩くまち京都の実現に向けて、公共交通に関するシンポジウムの開催や自転車駐輪場に関する交通社会実験などを行ってきました。また、エコツーリズム WG では、観光都市京都における環境調和型観光（エコツーリズム）の実現を目的として、環境に配慮した宿泊施設の普及活動などを行ってきました。

7月11日に、これまでの活動を踏まえて、両WGにおける共通の課題や目標を抽出するコアメンバー会議を開催しました。会議では、合同で実施することによる相乗効果により、効果的な活動が出来ないかを議論しました。両WGの共通項である「環境負荷の少ない交通体系の創出・観光の実施」をキーワードに、今年度は双方の企画を持ち寄り実施することが出来ないか、等が提案されました。具体的には、毎年11月に開催される「まちなかを歩く日」のイベントの一環として、交通WG・エコツーリズムWG合同で、『(仮称)2050年の京都の姿を考える』シンポジウムを開催し、フォーラムのこれまで

の活動実績を広くアピールしていくことになりました。

また、8月5日には京都市都市計画局歩くまち京都推進室とフォーラムメンバーによる「歩くまち・京都」総合交通戦略に関する意見交換会を行い、都市計画局との連携など新たな進展がありました。

このように交通WGでは、歩く・公共交通・自転車等をキーワードに【歩いて楽しいまち→人が賑わう場所（集まる場所）→公共交通が移動手段】となるまちづくりを目指します。エコツーリズムWGでは、引き続き環境に配慮した宿泊施設の普及を目指して、京都グリーン購入ネットワークと連携して宿泊施設の環境対策に関する利用者アンケート【エコ宿チェック】に協力します。

今、両WGが出来ること、伝えるべき事を見つけ出し、京都から環境まちづくりの創出・実現を目指します。京都に住む人・訪れる人、どちらにとっても「環境モデル都市・京都」の良さを感じ取っていただける活動を進めていきます。

事務局動静ピックアップ

事務局スタッフが参加したエコ活動を紹介します。

7月16日ー8月15日

「バスと電車でecoグルメ!」 ポスター掲示中!



京都市営地下鉄烏丸線の車内で掲示中ですが、ご覧いただき

でしょうか。日頃マイカーを利用されている方は、お得な特典が得られるこの機会に是非、公共交通を利用してエコな取組を行う飲食店に、足を運んでみて下さい。

7月25日（土） 省エネ家電普及促進に関する協定の締結式



京都駅ビル前広場において、京都府電機商業組合、京都市、京都府の三者が、省エネ家電への買い替えを促進するために協力体制をとる協定の締結式が行われました。式中、門川京都市長より「京

のアジェンダ 21 フォーラム」が中心となって省エネ性能を分かりやすく表示した「省エネラベル制度」を創設したことが紹介されました。会場でフォーラムは、家庭の省エネに関するパネル展示を行い温暖化防止活動への参加を呼びかけました。

7月17日 家庭の省エネ相談（山科区役所）
21日 中長期ビジョンコア会議
22日 KESC 交通環境学習チーム会議
25日 京都駅ビル省エネ家電普及促進キャンペーン
27日 子どもエコライフチャレンジ会議
自然エネルギー-WG 会議
28日 KESC 水源の森づくりチーム会議
31日 幹事会、KESC 交通環境学習チーム会議

8月1日 家庭の省エネ相談（京七夏祭り）
3日 家庭の省エネ対策プロジェクトチーム会議
京都府地球温暖化対策プラン会議
4日 京都 GPN ビジネスネットワーク部会会議
5日 「歩くまち 京都」意見交換会
7日 京都 GPN 調査研究部会
10日 フォーラム事務局会議
12日 KESC 市民共同おひさま発電所づくりチーム会議

京グリーン電力制度では、京都市内の太陽光発電設備で作られた電力の持つ、環境にやさしいという価値“環境付加価値”を、証書の形にして、京都市内で事業活動やイベントをされる事業者・行政等に販売しています。売上代金は、太陽光発電の普及のために役立てられます。この“環境付加価値”をフォーラムに提供し、京グリーン電力制度にご協力くださっている発電設備を紹介します。

● 第二あけぼのおひさま発電所

- ・所在地 伏見区清水町 877
社会福祉法人曙福社会 第二あけぼの保育園
- ・所有者 社会福祉法人曙福社会
- ・提供量 (2008 年度計 3,700kWh 相当量)

第二あけぼの保育園では、2002 年に「おひさま発電所」を設置しました。園児たちは、発電状況が分かる表示盤の絵を見て「おひさま頑張ってるー」「ありがとう」などと歓声を上げ、太陽エネルギーに関心を持っていることが分かります。さらに環境への関心を高めるため、翌年には雨水タンクを設置しました。貯められた雨水は園庭の植物や野菜などの水やりにも利用したり、泥あそびでも使ったりしています。京グリーン電力制度には、京都で自然エネルギー発電設備が少しでも増えてほしいという思いから協力しました。今後も、地域からの環境の情報発信源として、ますます活発に環境の取組を進めていきます。



【写真 上：第二あけぼの保育園 外観、下：エコ夏祭りの様子】



● 真宗本廟 (東本願寺) 御影堂素屋根

- ・所在地 京都市下京区烏丸通七条上る
- ・所有者 宗教法人真宗大谷派
- ・提供量 (2008 年度計 6,400kWh 相当量)

東本願寺は、親鸞聖人を宗祖とする真宗大谷派の本山です。地域に開かれた、環境と調和したお寺を目指して「東本願寺と環境を考える市民プロジェクト」を環境 NPO 等とともに組織し、お寺の庭園やお堀を使っの観察会や、環境取組のパネル展示会などを行ってきました。



【写真 左：東本願寺の庭園・枳殻邸 (きこくてい)、右：環境教育、自然観察会の様子。後ろに見える白い建物が御影堂素屋根で、素屋根の上に太陽光発電パネルが設置されている。】

2011 年の親鸞聖人 750 回御遠忌の特別記念事業として、真宗本廟両堂等の修復を行う中で、環境に配慮した修復を意識し、御影堂の素屋根に太陽光発電パネルを設置するほか、雨水利用、瓦の再利用などにも取り組んできました。京グリーン電力制度には、お寺の環境 CSR の一環として協力しました。今後も様々な取組を通して、ますます地域に開かれた、環境と調和したお寺を目指していきます。

事務局短信

事業所での環境取組として、最近注目しているのが「エコ通勤」です。マイカーから公共交通に乗り換えて「バスと電車で eco グルメ!」をご利用下さい。(西本雅則) / 知り合いから教えてもらったデザート地下の「デザートビネガー」にはまっています。ブルーベリー、白桃などいろんな種類があり、先日はシークワサーを買いました。私が行くお店ではリターナブル瓶を使っていて、空き瓶を持って行くとお金が返金され、エコロジーなのも嬉しいです。暑い夏には疲れが取れて良いですよ。皆さんもよければお試しください。(小山直美) / 大阪府門真市の団地で、日本にはいないはずのエスカルゴ (ヒメリンゴマイマイ) の大量発生が見つかりました。以前、アフリカ旅行で空腹のためダウンしそうになった時、現地の方にごちそうして頂いた「アフリカマイマイ」を思い出しました。(池田周子) / 祇園祭で梅雨が明け夏が始まるのが京都の季候の目安。しかし傘が手放せない事が多くなっています。気候変動と共にゲリラ豪雨が頻繁に起こっています。一箇所だけの暗黒の雲とゲリラ的な雨。昔のドリフターズで天井から水が落ちて来るのを思い出すのは私だけでしょうか。(上野かおる) / 今年は短い夏でした。向日葵の頭は大きくなだれ、この時期を待っていたかのように秋の虫が鳴き始めました。鳴き声も色々あり、一日の疲れが穏やかに癒されたり、頑張れ頑張れと励まされるものがあったりで、昆虫は今では私にとって掛け替えのない存在になっています。(小西賢人)